



2020年1月30日

各位

上場会社名 アルプスアルパイン株式会社
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 CEO 栗山 年弘
 (コード番号 6770 東証第1部)
 問合せ先 経営企画統括部 統括部長 小林 淳二
 TEL (03)5499-8026(IR部門直通))

2020年3月期通期業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年9月27日に公表した通期連結業績予想を以下の通り修正しましたので、お知らせいたします。

また、2019年4月26日に公表した1株当たり期末配当予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2020年3月期通期(2019年4月1日～2020年3月31日)連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (2019年9月27日発表)	859,000	48,500	40,500	22,500	109.19
今回修正予想 (B)	844,000	41,000	35,000	10,000	48.71
増減額 (B-A)	△ 15,000	△ 7,500	△ 5,500	△ 12,500	-----
増減率	△ 1.7%	△ 15.5%	△ 13.6%	△ 55.6%	-----
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	851,332	49,641	43,605	22,114	110.19

(2) 修正の理由

当連結会計年度は、電子部品事業における車載市場では、自動車販売の減速を受けモジュール製品や通信用高周波製品等が全般にわたり低調となる予想で、一方、民生その他市場では新規顧客開拓や拡販活動によりスマートフォン向け各種製品が堅調に推移するものの、全体では車載市場の軟調を民生その他市場で補いきれず、前回予想の売上高・利益を下回る見込みとなりました。車載情報機器事業については、売上高は欧州高級自動車メーカー向けナビゲーションやディスプレイ製品が好調に推移し前回予想を上回るものの、製品ミックスの悪化により利益は前回予想を下回る見込みとなりました。

そのため、2020年3月期通期累計期間の連結業績予想について、2019年9月27日に公表した連結業績予想における、売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益をそれぞれ修正いたします。当期純利益の減少要因は、主に繰延税金資産の一部取り崩しおよび海外子会社の清算に伴う損失、生産設備の一部処分などによるものです。

なお、第4四半期の為替レートは、2019年4月26日に公表した1米ドル=110円、1ユーロ=125円から変更しておりません。

2. 配当予想の修正について

(1) 修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2019年4月26日発表)	円 銭 —	円 銭 20.00	円 銭 40.00
今回修正予想	—	10.00	30.00
当期実績	20.00	—	—
前期実績 (2019年3月期)	25.00	25.00	50.00

(2) 修正の理由

当社は、2018年11月26日付「持株会社体制における株主還元基本方針を含む経営方針に関するお知らせ」にてお知らせしたとおり、当社とアルパイン株式会社との経営統合後において獲得した連結当期純利益を原資として、株主の皆様への配当及び自己株式取得から成る総還元につき、成長投資と資本効率の向上のバランスを確保しつつ、①総還元性向として連結当期純利益の30%を確保することを原則とすることに加え、②特にこの2019年度から2021年度までの3年間においては、総還元性向を50%とすることを決議しております。

この株主還元基本方針に基づいて2019年4月26日に当社取締役会にて決議され、同年7月1日から本年3月31日の間に上限550万株・75億円とする自己株式取得実施により、3月末時点で当社の総還元性向が目標とする50%に達し、202%となるものと想定しております。

そのため、今回の2020年3月末日を基準日とする剰余金の配当は、上記の総還元性向や業績の動向等を総合的に勘案し、1株当たり10円減配し10円の配当に修正することといたしました。これにより、中間配当（1株当たり20円実施済）を合わせた年間配当金は、1株当たり30円となる予定です。

なお、本件につきましては、2020年6月に開催予定の当社第87回定時株主総会に付議する予定です。

(注意事項)

上記に記載しました予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上